

表-1 レターデーションの角度依存性及び光軸位置

入射角 フィルム	0度	20度	40度	#0度斜入射レター ーションとの度でのレ ターデーション値	法線と光軸との 角度
実施例1 α方向	362	363	369	1.01	-
β方向	362	360	363	1.00	-
実施例2 α方向	373	381	391	1.03	-
β方向	373	369	360	0.97	-
実施例3 α方向	369	372	604	1.06	-
β方向	369	363	333	0.94	-
実施例4 α方向	363	368	382	1.03	-
β方向	363	337	343	0.96	-
実施例5 α方向	382	387	385	1.04	-
β方向	383	377	334	0.93	-
比較例1 α方向	361	610	714	1.27	-
β方向	360	321	393	0.71	-
比較例2 α方向	13	-18	-123	-	10度
β方向	-13	-48	-133	-	-
比較例3 α方向	369	382	627	1.10	-
β方向	368	336	313	0.90	-
比較例4 α方向	21	11	-14	-	33度
β方向	-22	-33	-38	-	-
比較例5 α方向	0	-4	-13	-	0度
β方向	0	-5	-13	-	-
比較例6 α方向	0	-39	-120	-	0度
β方向	0	-40	-118	-	-
比較例7 α方向	383	396	640	1.10	-
β方向	383	343	338	0.91	-

\* α方向 一軸延伸フィルムにおける延伸軸と直交する面上に単色光の入射光路が存在し、該フィルムの法線方向との為す角度を斜入射角度とする。

\*\* β方向 単色光の入射光路をフィルム面に刻する法線方向から一軸延伸フィルムの延伸軸方向に閉けたときの斜入射の法線方向との為す角度を斜入射角度とする。

## 〔発明の効果〕

実質的にフィルム面の法線方向に光軸又は光線軸を有するか

$$\eta_{TH} = \frac{\eta_{MD} + \eta_{TD}}{2} > 0 \text{ の条件を満たすフィルム}$$

ムと正の固有複屈折値を有する高分子の一軸延伸フィルムとの組み合わせによつて一軸延伸フィルム単体のレターデーションの視角依存性を著しく改善すると共にネマティック、コレステリック又はスメクティック液晶セルに位相差フィルムとして利用するとき視野角が著しく改善する。

特許出願人 富士写真フィルム株式会社